

# しまね高2留学の魅力

都会より、役割が回ってくる機会が多い。  
小さいまちだからこそ、出会える大人たちがたくさんいる。  
そして、都会のように何もかもが用意された環境ではない  
からこそ、創造力や協働性が鍛えられる。  
島根県での1年間は、きっとあなたの探究心に火をつける。

## 地域での探究活動とチャレンジを支える安心安全の土壌

### 地域で学ぶ探究学習

人口減少や少子高齢化など世界的課題の先進地である島根県では、多様な特徴や課題を持つフィールドを活用した課題解決型学習を推進しています。生徒自身が答えられない課題に自分事として向き合い、解決に向かって試行錯誤することで、世の中の流れを広い視野で見つめ、柔軟に対応できる力が育ちます。授業内での取り組みに加えて、「地域系部活動」を提倡し、推進している高校もあります。

### 島根の留学先校が「第二のふるさと」に

島根県には、海外からも認められる自然や文化資源が多くあります。また、出雲大社に代表される多くの由緒ある神社や、見る人を魅了する神楽などが生活のなかに息づいています。そうした自然や文化を受け継いでいる地域の人たちは、地元の高校に誇りを持っています。そしてその高校に通う若い人たちのチャレンジを優しく見守ってくれています。四季を感じ、旬のものを味わい、豊かな自然と文化、人情を存分に体験し、いつでも帰れる「第二のふるさと」を島根につくってください。

## 留学までの流れ

**STEP 1**  
生徒が事務局にフォームを送信&  
担任の先生に相談しましょう!  
在籍校の先生の協力が必要なので、  
必ず先生に相談!

**STEP 2**  
先生と行きたい学校を探しましょう!  
説明会に参加して、行きたい学校を見つけるとともに、  
先生に各留学先校のカリキュラムを確認してもらい、  
留学可能な学校がどこか見つけよう!

**STEP 3**  
先生に在籍校用フォームを  
事務局に送信してもらいましょう!

**STEP 4**  
行きたい学校が見つかったら  
現地訪問しましょう!  
各校のHPをご確認ください。

**STEP 5**  
応募書類を在籍校から提出してください!

**ACTION! ▶ 留学を検討する** まずは留学生の体験談も聞ける「留学説明会」に参加しよう!

**オンライン開催** **留学説明会**  
6/25 [日]・6/30 [金]・7/9 [日]・7/19 [水]  
7/29 [土]・8/6 [日]・8/30 [水]・9/8 [金]

地域みらい留学365の流れや価値を  
思い切り体感していただく説明会です!

- ① 地域みらい留学365とは
- ② 留学までの流れ
- ③ 質疑応答

地域みらい留学365  
ホームページへ



**ACTION! ▶しまね高2留学校を確認しよう** 留学先校で履修できる科目や応募条件などを確認しよう!

**合同学校説明会** しまね高2留学先の全校が参加  
**オンライン開催** 7/23 [日]・9/18 [月・祝] 東京開催 8/20 [日]

地域みらい留学365の流れや価値を  
思い切り体感していただく説明会です!

- ① 地域みらい留学365とは
- ② 留学までの流れ
- ③ 質疑応答

地域みらい留学365  
ホームページへ



**ACTION! ▶ 島根県に行こう!** 留学先校と日程などを調整し、現地訪問をしよう!

**現地訪問をするには**  
1. 地域みらい留学WEBでオープンスクールを検索  
2. 学校に直接問い合わせて、日程を調整

地域みらい留学365  
ホームページへ



## しまね 高2留学とは

高校2年次の1年間を  
島根の高校で学ぶ  
国内留学制度です。



入学した学校(在籍校)で学びます。

その高校ならではの魅力的な高校生活を送  
れるよう、しまね高2留学生をサポートします!

※在籍高校からの転籍ではありません。  
在籍高校において、留学先での学修  
の成果(ボランティア活動等を含む)  
について、適切に単位認定をします。

## QUESTION

### よくある質問

しまね高2留学をお考えの生徒・保護者のみなさまへ

**Q 留学まで、  
何から始めれば良いですか？**

7~9月は、「合同学校説明会」に参加して、まずは「しまね高2留学」について知りましょう。興味のある学校を調べて、留学のイメージを膨らませてください!

**Q 応募するための条件は  
ありますか？**

高校2年生の1年間が留学期間となりますので、現時点で高校1年生であることが条件となります。「違う環境で色々なことに挑戦したい!」「新たな自分を見つけたい!」という方は、選択肢の一つとしてご検討ください。違う学科への留学(例えば普通科から商業科)、課程の違う高校からの留学(定期制・通信制から全日制)も、学校間で教育課程などの調整がつけば、可能です。

**Q どのようなカリキュラムで  
学べますか？**

本物の自然や独自の伝統を有する地域の特色を活用した学びや、地域と協働して課題を解決する探究学習などが学校ごとに用意されています。(詳しくは、しまね留学や地域みらい留学のWebサイト、もしくは各学校に直接お問い合わせください)

**Q 留学中の費用は  
どうなりますか？**

生徒は在籍校に籍があるので、基本的に在籍校に授業料を納入することになります(海外留学に準じるなど在籍校の規定によります)。留学先校では授業料は徴収しませんが、学級費や学校行事等への参加費、寮費や食費等の生活費は負担することになります。

**Q 検査制度はどうなっていますか?  
併願は可能ですか？**

地域みらい留学Webで応募・検査要項をご確認ください。第二志望まで併願が可能です。

**Q 3年間で高校を  
卒業できますか？**

留学した場合の単位がどうなるのかを含め、留学を検討していることを、早いタイミングで在籍校の先生に相談されることをおすすめします。教育課程や、卒業に必要な科目、単位数は学校ごとに異なります。原則3年間で卒業ができるよう、学校間で調整されることとなります。

**Q 安心して学び、生活するための  
サポート体制はありますか？**

留学先校は、生徒数が少ない分一人ひとりが主役になる環境です。高校と地域を結ぶ「コーディネーター」を中心に、下宿先のご家族、寮の管理人さんなど、地域全体で生活面・メンタル面を見守ります。

**Q しまね高2留学と  
地域みらい留学365は  
同じ仕組みですか？**

同じ仕組みです。地域みらい留学365は全国での総称、しまね高2留学は島根県内での呼び方になります。

**Q 検査制度はどうなっていますか?  
併願は可能ですか？**

地域みらい留学Webで応募・検査要項をご確認ください。第二志望まで併願が可能です。

高校へ入学

1年間留学

入学した高校へ戻り卒業

# しまね 高2留学



お問い合わせ先

島根県教育庁教育指導課

TEL.0890-8502

TEL.0852-22-6165

FAX.0852-22-6026

http://www.shimane-ryugaku.jp/

高校情報など、  
詳しく述べ WEBへ

しまね留学

検索

→

ご家族で移住を希望される方は  
(公財)ふるさと島根定住財団 UIターン推進課

TEL.0852-28-0690

https://www.kurashimanet.jp/

■ご家族で移住を希望される方は  
(公財)ふるさと島根定住財団 UIターン推進課

TEL.0852-28-0690

https://www.kurashimanet.jp/

未来につながる  
17歳のチャレンジ。





入学校に籍を置きつつ、高校2年次の1年間を島根県の高校で学び、3年次は元の入学校で学ぶ「しまね高2留学」。

新たな仲間と共に成長が実感できる学校生活を、島根県、市町村、高校が一体となって支援します。

## しまね高2留学で島根の高校に行こう！

### 高校1年の4月

中学受験をして、やっとの思いで入った高校だったけど、勉強漬けの毎日でなんだか疲れた。将来の夢とかなく、何のために勉強してるんだろう。これまでいいのかな？何かにチャレンジしてみたいけど…。

オープンスクールに参加しよう！

### 高校1年の9月

留学説明会で気になる学校があった。その高校のサイトではたくさんの記事が出てきた。生徒が楽しそう、幸せそうのが伝わってきて、私もこういうところに行きたいっていう直感を頼りに、オープンスクールに参加してみることに。

留学スタート！

### 高校2年の4月

ホームシックにならないかな？寮ではどんな生活になるのかな？どんな子がいるんだろ。でも不安よりもワクワクの方が大きい。



留学を検討したら留学説明会に参加しよう

### 高校1年の7月

勉強勉強の毎日でネガティブになっていた高校1年の夏前に、しまね高2留学のチラシが学校で配られた。そのチラシを見た時に、もしかしたら違う高校生活が送れるのかなって想像してみた。



応募までのステップを調べよう！

### 高校1年の11月

現地訪問をして、最終的に留学志望校への応募を決めた！在籍校の先生に報告。応募書類を準備して提出した。いよいよ面接。緊張したけど、留学できることに！



詳しくはWEBサイトへ  
しまね留学ホームページ



## しまね高2留学 高校一覧

### 島根県立大東高等学校

子どもから大人までチャレンジが連鎖する雲南で地域を感じ、マイテーマを深化させるスペシャルな365日。



### 島根県立三刀屋高等学校

本物のキャリア教育で自分の興味関心を深めるスペシャルチャレンジ留学。



「学び」との出会い、「地域」との出会い、「部活動」との出会いを柱とした、多様で豊かな出会いを通して、未来を切り拓く力を育んでいます。2年生の「雲南式探究」では、「地域パートナー」をチームに迎え、共に活動を考え取り組みます。この探究活動が行われる時期には地域全体が学び舎となり、個性ある出会い・学びが生まれています。

#### 普通科1学年3クラス／全生徒数243人

●留学先の住居：下宿

●家賃（食費含む）：5万円／月 程度

連絡先／島根県雲南市大東町大東637 TEL.0854-43-2511

総合学科1学年4クラス／全生徒数381人（うち県外留学生6人）

●留学先の住居：寮

●家賃（食費含む）：4万円／月 程度

連絡先／島根県雲南市三刀屋町三刀屋912-2 TEL.0854-45-2721

### 島根県立島根中央高等学校

変わっていく、変えていく。



「やってみたい」を“やってみる”。そんなあなたの一步に寄り添います。

普通科1学年3クラス／全生徒数219人（うち県外留学生79人）

●留学先の住居：寮

●家賃（食費含む）：4万円／月 程度

連絡先／〒696-0001 島根県邑智郡川本町 川本222番地 TEL.0855-72-0355

普通科1学年2クラス／全生徒数200人（うち県外留学生77人）

●留学先の住居：寮

●家賃（食費含む）：7万円／月 程度（町からの助成あり）

連絡先／島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3 TEL.0856-72-0106

### 島根県立津和野高等学校

「やってみたい」を“やってみる”。どんな小さなチャレンジでもやってみる。日々そんなトライ＆エラーがたくさん生まれる自由な環境があります。みなさんのチャレンジを教職員や地域の人を含む多様・多彩なオナガ寄り添い、一緒に走ってくれる。そんな津和野で濃い1年間を送ってみませんか。

普通科1学年2クラス／全生徒数200人（うち県外留学生77人）

●留学先の住居：寮

●家賃（食費含む）：4万円／月 程度

連絡先／島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3 TEL.0856-72-0106

### 島根県立隠岐高等学校

みんなの「なりたい」が隠岐でみつかる



島まるごと学校。日本一の多様性の中で学ぶ！主体的に、協働的に、探究的に、地域の魅力や地域課題をベースに1年間かけてチームで取り組む探究学習が学びの柱です。地域には「なにもない」と言われがちですが、「豊かな人間関係」や「伝統文化」、そして「不便さ」が残されています。「なければいけない」。そこに創造性が育まれる余白があります。

普通科1学年2クラス／商業科1クラス／全生徒数196人（うち県外留学生4人）

●留学先の住居：寮および島親宅

●家賃（食費含む）：6~7万円／月（隠岐の島町に住民票を移した場合、一部助成あり）

連絡先／島根県隠岐郡海士町福井1403 TEL.08512-2-1181

## 2023年度4月で在籍高校へ戻った

### 「しまね高2留学」二期生の皆さんのが声です。

田中香帆さん

神戸野田高等学校



#### 留学をして感じたこと

学校で配布された高2留学のチラシのことを母親に話したところ、「やってみたら？」という会話になり留学を決めました。こんな経験をしたことがないし、面白そうだと思ったからです。新しい土地や環境に適応できるのか不安はありました、留学してみると助けてくれる人たちがいて思っていたよりも大丈夫だったんです。留学していた雲南市では、挑戦する人たちを応援する「スペシャルチャレンジプログラム」があり、私は友人が企画した市内出身の高校生が市外出身の高校生に雲南の魅力的な場所を届けるプロジェクトに写真を撮影することで協力しました。留学を悩んでいる人たちには、新しい出会いや経験が待っていること、そして自分の世界を広げることができるることを伝えたいです。県外に出ることで、いろんな人に出会えて、自分の考えも広がりました。留学してよかったと心から思います。

加藤喜弥子さん

上智福岡中学高等学校



#### 留学をして感じたこと

私は中高一貫校に在籍していて、高校1年の時に何か新しい変化が欲しいと思い、しまね高2留学に挑戦をしました。どうせ行くなら遠くに行ってみたいと思って、隠岐高校に応募しました。私は元々人と話すことが苦手で、それを克服するためには人と話す経験が必要だと考えていました。隠岐高校は地域行事に積極的に参加することをアピールしており、地域の人々と関わる機会が多く、人と話す機会も多いだろうと思ったからです。実際に、「島親」さんの隣人がバーベキューをしていた時、一人でおにぎりを持って参加し、お隣さんやお隣さんのママ友、そしてその子供2人と一緒にバーベキューを楽しむことができました。このような地域の強いつながりに驚きましたが、とても良い経験になりました。

松延 悠さん

神奈川県立鶴嶺高等学校



#### 留学をして感じたこと

留学先を選ぶ際に、まずはカリキュラムが自分に合っているかが重要でした。その上で、10数年の実績があるしまね留学は、制度が整っています。島根県内から探し、津和野高校を選びました。実際に訪れて津和野の自然や人々に触れたこと、またオープンスクールでは全てが生徒主体で行われていることなど魅力的でした。留学して感じたのは、津和野の高校生は将来の進路や自分のやりたいことに対してすぐに答える、意志が固い子が多いということです。また、総合的な探究の時間では、地元の魅力を自分で表現するというプロジェクトに取り組みました。その中で、和紙職人や神楽の衣装を作っている方等、多くの大人からの協力を得るなど、都会ではなかなかできない経験をしました。自分の好きなことをしながら生きている人たちがたくさんいることに気づき、私も自分らしく生きていこうと思うようになりました。

清水千陽さん

恵泉女学園中学・高等学校



#### 留学をして感じたこと

高校1年生になって、進路関係の資料がたくさん届く中で「しまね留学」のチラシに載っていた隠岐島前高校の写真に一目惚れしました。新しい世界を知りたいという気持ちと、高校生活に変化をもたらしたいという強い思いがあり、これまで中高一貫校で同じ友達と過ごしてきた中で、自分自身を見つめ直すためにも、しまね留学に参加することを決めました。島前高校では先生方との距離が近く、小規模なため、質問しやすい環境があります。また、先輩後輩の関係が非常に大きく、寮生活をしていることもあって、人とのつながりが深くなるなど、学校生活の違いを感じています。これまで私が通ってきた在籍校では、先輩後輩の関係は部活動の中しかなかったので、普段の生活での縦のつながりを持つことは新鮮でした。今では、「ここしかない！」と思える場所です。